

東海道線支線地下化・新駅設置工事（駅部工区）を受注

西日本旅客鉄道株式会社より東海道線支線地下化・新駅設置工事（駅部工区）を受注いたしました。

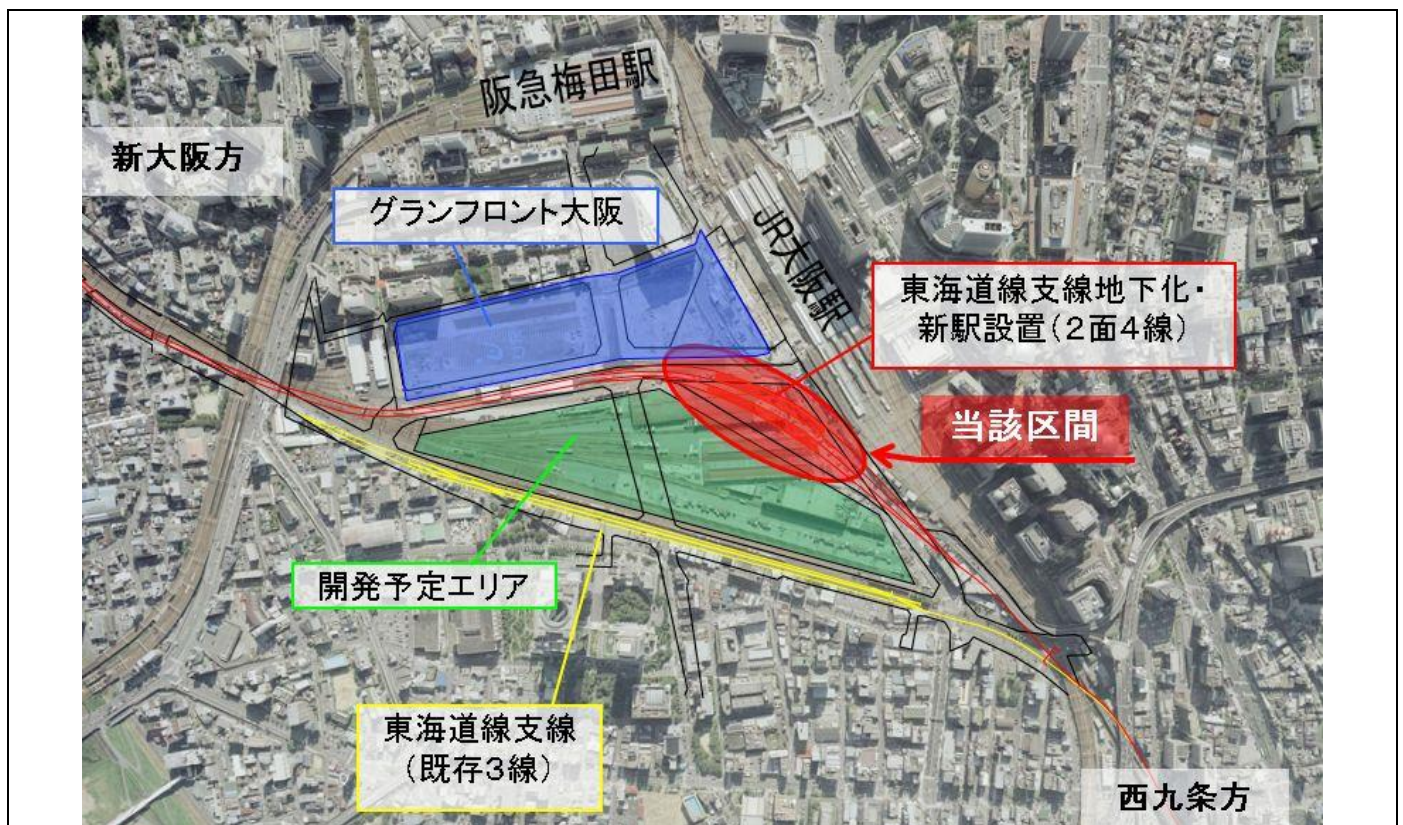
本工事は、大阪市と西日本旅客鉄道株式会社による事業で、JR東海道線支線を地下化し併せて新駅を設置する工事であり、大阪駅北地区2期区域を始め大阪駅周辺のまちづくりの基盤となるものであります。

施工は、地中連続壁で仮土留を行い、その後、約15m掘削し、駅部等のコンクリート躯体、ホームを構築していきます。大規模掘削作業による出水対策、コンクリートに対するひびわれ対策、施工後のメンテナンス等に配慮して工事を進めてまいります。

当社はJR西日本グループの一員として、安全で快適な交通ネットワークの発展ならびに社会基盤の創造に貢献してまいります。

工事概要

事業主体	大阪市、西日本旅客鉄道株式会社		
施工延長	約 240m		
主要工種	仮土留工(TRD 工法)	約	17 千㎡
	掘削工	約	120 千㎡
	コンクリート躯体構築工(2層6径間)	約	32 千㎡
	ホーム工(島式2面4線:10両対応)	約	4 千㎡
	駅舎内装工	約	11 千㎡
	機械設備(ESC, EV)		1 式
工事期間	平成 28 年 9 月 ~ 平成 35 年 3 月(予定)		
施 工	大鉄工業・清水建設 特定建設工事共同企業体		



出典：国土地理院ウェブサイト（航空写真を基に加工）